

# 実用英文法の再考

## コンテキストを踏まえた文法シラバス構築への一考察

金田 一史（都立杉並総合高等学校）

### 1. 概要

「文法の授業と聞いただけで眠気が。」などの戯れ言は本稿に興味を持ちお読み頂いている皆さまには程遠い感覚であることを願って止まない私だが、お恥ずかしながら英語の骨格をなす文法をはじめとする基礎的な要素は身につけながら学んだ。もちろん丁寧に教えてもらい、勉強する環境がなかったわけではない。ただ、今の自分自身の英語力の大半をなしているのがそういった経験よりも、むしろ身につけながら学んだ経験であるという事実がある。だからこそ、教え子の高校生を含む、英語学習者の方には、そういった学習環境をできる限り提供することを日々の英語教師としての役割の中で最大限に意識している。その結果として、試行錯誤ながら生徒に文法科目をいわば主体性を持って学んでもらい、できる限りアウトプットの場を与えつつ学ぶことのできる授業が組めたように思う。本稿では自己の振り返りをしつつ、英語教育現場に対して何かしらの有益な提示ができればと考える。

### 2. はじめに

本稿は私の現勤務校である杉並総合高等学校における2,3年次生の選択科目「実用英文法」についての考察が中心である。本科目は月曜3,4限続きの、2単位ものの科目であり、3限を日本人英語教師が、4限をALTと日本人英語教師がTT<sup>1</sup>で行う。従来までの英文法の授業とは異なり、実用的な視点から英文法指導を試みている。具体的には実生活で起きうる場面を想定して文法シラバスを組んでいる点で、本科目が「実用」英文法といわれる所以である。本科目内での文法シラバスはコンテキストを踏まえている。コンテキストの具体例としてはスモールトーク後の会話の継続、電車の乗り換えや道案内、季節行事での写真や絵の描写などといった実際の生活で起こり得るコミュニケーション場面である。各々の場面に対して5W1H疑問詞の積極的活用、依頼表現を用いたロールプレイング、固有名詞と前置詞を用いて絵を描かせるなどといった従来までの文法的枠組みをアクティビティにおける利用項目として当てはめて活用させていくことが狙いだ。

利用教材は主としてケンブリッジ出版マーフィーの実用英文法<sup>2</sup>である。主教材以外にもパワーポイントでの視聴覚教材や、アサインメントとして、あるいは授業内で活用するためのハンドアウトも配布する。なお、学習指導要領にもある資質能力のうち「見通しをたてる力」を育成するために、大学のように、学期ごとの授業シラバスも学期始めのガイド

<sup>1</sup> Team Teaching の略称。中学校ではT1, T2として補助教員を活用している場合もある。

<sup>2</sup> Raymond.M. with William R.Smalzer (2015) *Basic Grammar in use with answers Third edition*. Cambridge university press.

ンスの際に配布している。また、テストとしては5技能をはかるために自由英作を含むライティングベース<sup>3</sup>のペーパーテストとリスニング及びスピーキング、インタラクションを見るためにALTとのパフォーマンステストを各学期2回ずつの実施である。

### 3. 実践報告

各回の内容については添付資料のシラバスを参考にして頂ければと考える。文法項目をできるだけ文法項目として紹介しないように心がけた。文法用語で項目分けした文法を教えていくのではなく、実際のコミュニケーション場面で必要となりうる文法的な枠組みをコンテキストに基づいた項目分けにして教えるようにした。

以下に授業内での一部活動<sup>4</sup>をモノグラフとして紹介する。

#### ① Giant Pelmanism

数字カードを2枚ずつめくって、カード裏に書いてある節をマッチングさせるグループ活動である。接続詞の理解、仮定法の場合条件節と帰結説などが題材として活用できる。グループごとに順番を決め、各グループメンバーが順次2枚ずつカードをめくりマッチングさせていく。マッチングしたカードがグループの取り分で、最終的な合計枚数を競う。

#### ② Ladder race

従来からの並び替え問題をグループ単位の活動で実施できるようにした。細長い紙片に並び替え問題を載せ、各グループに配布する。各グループ内で解答を考え、得た解答を出題者（教員）へ伝え、正解であれば、グループの磁石（黒板に書いてあるラダーに貼り付けているもの）はラダー（黒板に書いてあるもの）を上ることができる。できる限り多くの解答をし、ラダーを高くまで上ることのできたグループが勝利である。グループ単位での競技意識もあいまって盛り上がる場面も起こりうる活動だ。

#### ③ Broken phone

英語版伝言ゲームといったところであろうか。4人以上のグループを組み、順番を決め、机にうつ伏せになってもらう。順番ごとに顔を上げてもらい、黒板に順次書かれていく単語やフレーズを覚える。そして覚えたら再びうつ伏せになる。全員終了したところで、グループ内で各自が覚えている単語やフレーズを共有してもらう。共有した文章とフレーズで文ができあがるようになっているという仕組みである。できあがる文は該当時の学習項目であれば学習効果を高められるし、そうでなくても諺などを扱うことで英語の知識を身につけることができる。

<sup>3</sup> Kate, M. Bill, S. Wakasa, N(2018) English Paragraph Writing / Opinion writing. TEACHERS COLLEGE COLUMBIA UNIVERSITY. 上智大学. August 21-22. 2018 於 上智大学

<sup>4</sup> 平成30年度 専門性向上研修 英語ⅢE(5235) 英語教育推進リーダー中央研修還元研修内配布 British Council (2017) LEEP Senior High School Teacher Training 2017 Grammar1, 2 session notes より

④ When you get lost…

道案内及び電車の乗り換えの会話枠組みと電車路線図を用いて実際にペア、グループでパターンプラクティスを行ってもらおう。パターンプラクティス後には、道案内役（異なる駅に案内するタスク）と迷子の役で半分に分かれ、スタンプラリーを行う。迷子の役はできる限り多く、道案内役と会話をして、スタンプを集めることをタスクとする。

⑤ Shapes and positions

図形の名詞及び前置詞句を用いた位置情報により、相手に正しく絵の情報を伝えるといった内容である。図形が文化的に意味するもの。例えば、oval officeが「大統領執務室」、pentagonがアメリカの国防総省などを表すといったことにも言及する。個人での活動後に、ペアワーク、またグループワークも組み込んでいく。グループワークでは1人のアーティストを選び、黒板前に立たせ、グループメンバーの指示通りの位置に図形を書き込んでもらうといった競争的な活動もする。

と上記にあるような活動を授業内に多数盛り込んだ。実際に文字での説明ではわかりづらい部分もあり、その辺りが身につけながら学ぶと申し上げた所以でもある。生徒たちは実際に仮想コンテキストで級友とともに活動に取り組み、話し合いながら協同的に学びを深めていく。

#### 4. 分析

生徒からのアウトプットである英作文やスピーキングテスト内における文法表現に注目する。生徒たちが該当文法項目を適切な仮想コンテキストで積極的に活用できているか。またできている場合にはどの程度有効に、かつ多用することができるかをみる。

以下は英作文における一部アウトプットである。

テーマ	該当箇所
My new term resolution	I'd like to <b>make it a rule to</b> learn English for at least three hours a day.
Summer vacation plan	I'll <b>probably</b> go~, <b>hopefully</b> , we'll go there~

各文内のフレーズ、太字にした箇所はアサイメントで例示した単語やフレーズである。それぞれのテーマで活用できうる関連性の強いものを紹介したのだが、実際にそれらの活用がテストで見受けられた。定量的な視点で、テキストマイニングをしてということであれば統計的な妥当性はない。ただ、意図したインプットからアウトプットの流れがあったという点を現状では意識したい。意図した単語やフレーズを対象のテーマにおいて活用できていることを評価する。

## 5. 考察

単独の選択科目ということもあり、準備などに余計な力が入り過ぎた部分もいささか垣間見られる。2時間連続のしかも2学年跨いでの文法指導には年度当初は実際かなり躊躇した。教職経験の中で私立商業高校、私立上位附属高校、県立ナンバー高と比較的幅の広い校種を経験したつもりでいたが、これまでにない類の科目であった。文法科目であることや指定教材が自習できるものになっているということからも、伝統的な文法指導の講義形式で教えるということもできたのだが、何より私の単独科目であるといったことも手伝い、これまでの教職経験を最大限に活かして指導に臨ませて頂いた。

当初は理想論的な進度を想定してのシラバスを組んでしまったため、予定通りにいかないことが多々あった。単指示、間、イントネーション、タイミング、時間配分など現場の生徒に応じて調整していく必要があったからだ。授業を行ううえで、生徒の現状を見失わないことは最優先課題である。今年度はテキストマイニングなどの分析に必要なアウトプットは定量的には得られなかったが、次年度以降の課題としていければと考える。

## 6. 今後に向けて

今年度用いた教材を次年度も活用し、より充実した教科指導を実現したい。加えて、英語教育的に有用な情報が提供できるようにするために常に専門教科の学びを深めたい。教師の仕事は教科指導だけではとどまらず、ゼネラリストとしての役割が大いに期待されているが、アクションリサーチをその都度しつつ、自己の授業を振り返り、授業でこそ勝負できるようにしていく。

## 7. 謝辞

今期は教育会発表者として再度迎えて頂き、在校生やOB・OGの方々、さらには元同僚の先生と学びを深める貴重な分科会の機会を得られたことに大変感謝している。分科会では実際の高校生との授業内を想定した活動が大半となるような構成であったにも関わらず、聴講者の皆さんには主体的に活動に参加して頂き、自分の不真面目であった学生時代を恥ずかしく思うほどのとても充実した時間を過ごすことができた。来期は事務局員として、また可能であるならば発表者としても教育会のさらなる発展へと貢献していくことができればと考える。

## 8. 参考資料

Date	Topic	Textbook (references)	Assignment
16/Apr	Guidance Self-introduction	U1, 2. pp. 2-5 (Am/ Is/ Are)	
23/Apr	My favorite thing	U53. pp. 106-107, U73. pp. 146 -147 (I like/hate ~)	Handout1 (Self-introduction)

7/May	You can do it	U25. pp. 50-51, U31. pp. 62-63 (Regular and Irregular verbs)	Handout2 (My favorite thing)
14/May	Never have ever	U16. pp. 32-33 (Present perfect)	Handout3 (Drills on the verbs)
21/May	<b>Midterm Exam</b>	U1, 2, 16, 25, 73	
28/May	Just curious though	U7. pp. 14-15, U48. pp. 96-97 U50. pp. 100-101	
4/Jun	I'm asking you	U4. pp. 8-9, U8. pp. 16-17	
11/Jun	Keep talking <b>:Performance test 1</b>	U4, 7, 48, 50	Handout4 (Question list)
25/Jun	<b>Term-end Exam</b>	U1, 2, 4, 7, 16, 25, 48, 50, 73	
9/July	Planning for summer vacation	U26, 27, 28, 29. pp. 52-59	Assignment 5 My summer vacation Assignment 6 <u>Textbook pp. 230-233</u>
3/Sep	For what?	U55, 56. pp. 110-113 U72. pp. 144-145	Assignment 7 My new term resolutions
15/Oct	<b>2<sup>nd</sup> Mid-term exam</b>	U26, 27, 28, 29, 55, 56, 72, 115, 116	
22/Oct	When you get lost...	U49. pp. 98-99	Assignment 8 <u>Textbook pp. 214-223</u>
29/Oct	Trick or treat ?	U107, 108, 109, 110, 111. pp. 214-223	
5/Nov	Shapes and positions	U38. pp. 76-77, U107, 108, 109 , 110, 111. pp. 214-223	
12/Nov	The more, the merrier	U88, 89, 90, 91, pp. 176-182	
19/Nov	For whom or for who	U102, 103. pp. 204-207	
26/Nov	<b>2<sup>nd</sup> term-end exam</b> <b>Performance test2</b>		